

# 令和 6年度 杉並区施策評価シート I

( 00040 )

施策	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 市街地整備課 土木計画課 土木管理課

施策目標	鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名 ( 1 )	区施行優先整備路線の事業着手率	指標名 ( 1 )	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合
算式・指標説明	事業着手率÷区施行優先整備路線延長	算式・指標説明	区民意向調査による【区民 】
指標名 ( 2 )	安全対策路線の整備延長	指標名 ( 2 )	都市計画道路 ( 区道 ) 完成延長
算式・指標説明	平成29年度からの整備延長	算式・指標説明	区内の都市計画道路のうち整備が完成した区道延長【行政】
指標名 ( 3 )		指標名 ( 3 )	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 ( 4 )		指標名 ( 4 )	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 ( 5 )	
		算式・指標説明	
		指標名 ( 6 )	
		算式・指標説明	

区分			単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標（１）	1	%	26	39	39	39	39		
	活動指標（２）	2	km	1.5	1.5	1.5	1.7	2.3		
	活動指標（３）	3								
	活動指標（４）	4								
成果指標	成果指標（１）	5	%	79.1	78.0	75.9	78.0	78.0	80.0%	令和12年度
	成果指標（２）	6	m	7,022	7,022	7,022	7,022	7,022	8,178m	令和12年度
	成果指標（３）	7								
	成果指標（４）	8								
	成果指標（５）	9								
	成果指標（６）	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,359,182	1,575,631	1,275,233	2,743,291	2,437,857	特記事項	
	人件費	12	千円	291,333	320,923	333,415	327,607	343,732	令和5年度は、前年度からの工事請負費の繰越や区道の路面状況に関する調査の実施及び、アクセス道路や無電柱化に関連する工事費の増加等が主な要因となり事業費が増加しました。	
	総事業費 (11+12)	13	千円	1,650,515	1,896,554	1,608,648	3,070,898	2,781,589		
	国・都からの補助金等	14	千円	263,760	236,036	266,303	391,895	405,515		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			2.5	61.9	72.9		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	17.7	16.9	20.7	10.7	12.4		

課題・分析		都市計画道路は、都市の骨格を形成するとともに区民の生命と財産を守りつつ、安心して安全なまちを築く重要な都市施設です。既に市街地化された区民にとって、大規模な道路事業により、住み慣れた環境が変化していくことが必要です。また、都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係の形成に努めることが必要です。また、都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査に多くの経費と時間を要することから、国や都の補助金の活用により区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。
施策の成果		事業着手している西荻窪の補助第132号線と高円寺の補助第221号線においては、地域住民の合意形成を図るため、まちづくりの中で道路整備を考える区民と区長の対話集会を開催してきました。また、関係権利者との丁寧な折衝を進めてきた結果、面積ベースでの用地取得状況は、補助第132号線が23.5%、補助第221号線は4.1%となっています。 西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び、上井草駅北口広場等事業について、令和6年3月に事業認可を取得しました。京王線では、関係自治体等と連携し、連続立体交差事業及び関連事業を推進しつつ沿線まちづくり活動団体の支援を行いました。さらに、下高井戸駅周辺では、地区計画の策定に向け、世田谷区とともに住民参加の「街づくり懇談会」を3回実施しました。区の目指すべき将来都市像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりの実現を図るため、綿密に区民との対話や情報提供を行いました。都市基盤の整備は、区民の生活に大きな影響を及ぼす可能性があることから、各事業の推進にあたり、従前にも増して区民等への丁寧な説明と十分な意見交換を行いながら進めました。
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	施策目標で掲げる交通渋滞や地域分断の解消、円滑な交通ネットワークの形成、まちの防災性や安全性を高めるため、鉄道連続立体交差化による駅周辺道路や広場の整備、災害に強い都市の骨格を形成する都市基盤となる都市計画道路などの整備を推進します。さらに、区民が身近に利用する生活道路や私道についても、計画的に整備を進めることにより安全な通行を図る取組を進めていきます。また、公共物である道路の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興を図るため、地籍調査を含む道路台帳の整備を進めるとともに、地籍調査が必要となる復元測量等については、計画的に事業を実施できるよう実施区域面積の配分調整を行い令和14年度の全域完了を目指します。今後も、区の目指すべきまちの将来像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる区民主体のまちづくりを実現するため、地域住民に対する十分な情報提供や丁寧な説明、住民との活発な対話を行いながら個別の事業を推進し、杉並区の地域性を重視した住みよい住宅都市としての価値を高めていきます。

令和 6年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 人々の暮らしを支える都市基盤の整備】 金額の単位は千円 ( 00040 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 5年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 343	まちづくり施策の総合的な推進			4,255	20,800	25,055	現状維持
2 345	都市計画道路公園緑地の案内調整			33	12,389	12,422	現状維持
3 348	鉄道連続立体交差化の推進			119,882	49,560	169,442	推進（拡充）
4 387	道路台帳の整備			190,840	94,562	285,402	現状維持
5 388	私道整備助成			146,452	5,123	151,575	現状維持
6 391	道路の路面改良			883,969	49,116	933,085	現状維持
7 392	魅力ある歩行者優先の道づくり			117,938	44,031	161,969	推進（拡充）
8 393	都市計画道路の整備			974,488	68,151	1,042,639	推進（拡充）
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,437,857	343,732	2,781,589	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--